

大通 防災だより

第26号



※講話・講習の様子

令和元年11月17日(日)

大通コミュニティ協議会所属12自治会総合防災訓練 新潟市推奨訓練

- ・情報伝達訓練、安否確認訓練
- ・避難誘導訓練、避難訓練
- ・避難所開設訓練
- ・外部講師による講話、講習



多数の方にご参加いただき有難うございました。

『大通防災だより』の発行は
新潟市地域活動補助事業です



発行
大通地域生活センター内
大通コミュニティ自主防災会
TEL 025-362-1491

心配な災害時の避難所

対応が遅れると命に関わるアナフィラキシーは、アレルギーの中でも短時間に全身に現れる激しい急性アレルギー反応だ。ハチ毒や食物などによるものが知られ、平時でも対応の難しさが指摘されているが、特に最近、心配されているのは災害が起きた際、食物アレルギーを持つ人のケース。

国立病院機構相模原病院（相模原市）臨床研究センター病態研究室の佐藤さくら室長は「日本では毎年アナフィラキシーで70人前後が死亡している。誘因となる物質が異なり、発症は個人により差があるが、命に関わる過敏反応で、予期できず繰り返し起こることも問題」と指摘する。

アナフィラキシーになると、皮膚症状や粘膜症状、呼吸器症状や意識障害など二つ以上の重い症状が急激に進行する。

データはまだ少ないが、文部科学省によると、アナフィラキシーを起こしたことがある

る児童・生徒は小学生0.6%、中学生0.4%、高校生0.3%（2013年）という。日本アレルギー学会による症例調査（主に小児）でも、誘因の7割近くが食物となつている。

「アナフィラキシーの誘因としては昆虫（主にハチ毒）、食物、医薬品、手術関連、ラテックスなど、年齢で違いがあることが分かっている」

欧州の大規模データでは、18歳以下では食物が65%と圧倒的に多く、昆虫が20%。成人では食物は20%、昆虫48%、医薬品22%という。

「食物の種類別では牛乳、鶏卵、小麦がトップ3。続いてピーナツ、クルミ、魚の順だ。最近、果物が増えている印象がある」

発症時の対応はアドレナリン注射が第一選択。血圧上昇や粘膜の腫れを抑える作用がある。発症したことがある人

怖いアナフィラキシー

- 助けを求めらるべき症状
(食物アレルギーを持つ子どもの場合)
- 全身症状
唇や爪が青白い。脈が触れにくい。不規則。意識がもうろう。ぐったりしている。尿や便を漏らす
 - 呼吸器の症状
のどや胸が締め付けられる。声がかすれる。犬がほえるようなせき。持続する強いせき込み。ゼーゼーする呼吸
 - 消化器の症状
繰り返し吐き続ける。持続する強いおなかの痛み
- (日本小児アレルギー学会の冊子による)

食物アレルギーに理解を

規模災害が多く、特に避難所では食物アレルギーを持つ人の対応に注意が叫ばれる。

「基本的には原因になる食物を食べないことが治療になるが、さまざまな状況が生じる。避難所経験者の話を聞く、それがなかなか難しい」

問題点は①誤食のリスクが高くなる②アレルギー対応食品が得られない③アレルギーが出たときの薬がない④周囲の人に危険性をなかなか理解話している。

大阪の食物アレルギー・アトピーサークル患者会の代表・田野成美さんは「自分たちでも備えはしているが、災害を思うと不安でたまらない。誤食をしたら病院へ行くのも間に合わないのではと思う。食物アレルギーに対する周囲の助けや理解がぜひ必要」と話している。

また周囲から「アレルギーが出て食べないよりいい。食べさせろ」「こんな所でせいたく言わない」と言われ、「命に関わるかもしれないのに非常に困った」と報告されているという。

「東日本大震災時で困ったことの報告では、子どもが空腹に耐えられず、ポランティンアからもらった食料で命に関わる重篤症状になった例がある」



災害時のこどものアレルギー疾患対応パンフレット
日本小児アレルギー学会
2019年11月19日

令和元年11月17日(日)実施した総合避難訓練にて

避難所である大通小学校へ各自治会集団避難訓練及び講話にご参加いただいた皆様へ、避難所開設時において食の安全性を高めることを目的として、口頭ではありましたが、一人ひとりの食物アレルギー有無の確認を行い非常食を配布致しました。

食物アレルギー対策の非常食も用意をしておりますが、右の記事にある通り食物アレルギー原因食品は多数あり、年齢とともに原因食品は変化もしていきます。中には自分自身の食物アレルギーの有無に気が付いてない方もいらっしゃるかもしれません。

避難所に置いて食事から二次被害にならない為にも、普段食している食品の中で非常食として保存のきく物は何か、非常食の中で何を備えておくか、非常用持ち出し袋など、どう準備しておいたら良いかなど、是非この機会に各ご家庭で話し合い、常日頃から自然災害に備えておくことは必要です。ご協力お願い致します。

特定原材料等(アレルギー物質)27品目由来成分不使用			
× えび	× かに	× 小麦	× そば
× 卵	× 乳	× 落花生	× あわび
× いか	× いくら	× オレンジ	× カシューナッツ
× キウイフルーツ	× 牛肉	× くるみ	× ごま
× さけ	× さば	× 大豆	× 鶏肉
× バナナ	× 豚肉	× まつたけ	× もも
× やまいも	× りんご	× ゼラチン	

食品・水 <input type="checkbox"/> 飲料水(500mlペットボトル程度) <input type="checkbox"/> 乾パン・クラッカー・缶詰など、火を通さなくても食べられる物 	救急・安全関係 <input type="checkbox"/> 救急医薬品(絆創膏・傷薬・包帯) <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> ヘルメット(防災ずきん) 	貴重品 <input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード類 <input type="checkbox"/> 預貯金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> 権利証書 <input type="checkbox"/> 免許証 <input type="checkbox"/> 健康保険証
日用品 <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 電池 <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り 	衣類など <input type="checkbox"/> 衣類(下着・上着) <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> 手袋、軍手 	その他 <input type="checkbox"/> 洗面用具(歯ブラシ・石けん) <input type="checkbox"/> ほ乳びん <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> メガネ

※上記の内容をご参考ください



令和元年 各自治会防災訓練の報告

自治会名	実施日	参加人数	目的
------	-----	------	----

大通1	10月6日	50名	・避難時、寝たきりの方の対応訓練 ・車いすでの避難、搬送の想定訓練
-----	-------	-----	--------------------------------------



大通2	10月6日	50名	・組織内相互の連携及び自主防災活動の実施 ・防災知識の習得・AEDの説明・防災講話
-----	-------	-----	----------------------------------------------



大通西	10月27日	36名	・防災緊急連絡網の検証及び避難行動要支援者に対する円滑な対応 ・心肺蘇生訓練その他
-----	--------	-----	----------------------------------------------



大通南1-1	9月8日	50名	・緊急時声かけ安否確認訓練・要支援者の援護訪問確認 ・初期消火訓練・救出救護訓練
--------	------	-----	---------------------------------------------



令和元年 各自治会防災訓練の報告

自治会名	実施日	参加人数	目的
------	-----	------	----

大通南1-2	11月17日	53名	・防災緊急連絡網訓練
--------	--------	-----	------------



大通南2-1	10月20日	107名	・防災緊急連絡訓練
--------	--------	------	-----------



大通南2-2	9月29日	30名	・連携確認、効果的防災活動の実施・機材の取り扱い ・AED訓練・消火訓練・担架訓練・避難者カード記入訓練
--------	-------	-----	---------------------------------------------------------



大通南3	9月8日	84名	・電話連絡での緊急連絡訓練
------	------	-----	---------------



2019年11月17日 撮影写真

令和元年 各自治会防災訓練の報告

自治会名	実施日	参加人数	目的
大通南4	6月30日	60名	・大地震が発生した場合に素早く対応する訓練・AED訓練 ・ケガ人への対応訓練・応急担架作成、対応訓練・消火訓練



大通黄金北 // 南1 // 南2	9月8日 合同訓練	50名	・緊急連絡網訓練・AED訓練・避難行動要支援者訓練 ・担架作成対応訓練・消火訓練・集団避難訓練
-------------------------	--------------	-----	----------------------------------------------------



**「他人事だと思っていないですか！」
「防災は、ひとりひとりの問題です！」**

自治会の防災訓練は、災害に備えた事前の心構えを得る為の大切な活動です。

- ①緊急連絡方法の確認
- ②避難場所と避難経路の確認
- ③自治会住民の助け合い活動の内容確認

「自助」「共助」は大切です。



自治会防災訓練に参加をしましょう！

【防犯安全班活動報告】

■交通安全班メンバー

大通2丁目 五十嵐・森岡・池田
大通南2丁目1 佐藤・小林・河西
大通4丁目 須田・近藤・渡辺

■活動内容

自治会別避難危険箇所マップの点検・確認・調査



■活動報告

1. 避難所までの所要時間は、成人(健常者)老人、車いす等では所要時間に差が出ますので三通りに時間を出しておきました。
2. 経路
3. 危険箇所は問題なし
4. 一時避難所、集合場所は各チームの各担当地域内に問題あり。
各町内でマップをもとに作り直したらよいのではないかと。
各町内ごとにそれぞれ条件が違いますのでその町内ごとに現実と合わせて作成すべきとの意見でまとまりました。

各自治会用の避難所までの経路/所要時間と災害時危険箇所マップは全世帯に配布してありますので、各ご家庭でも避難経路の確認をし、不明な点があった場合は各自治会にて避難所までの経路/所要時間と災害時危険箇所マップの改善・改良しご活用下さい。





「ご自分が住んでいる場所の
地形を知って下さい！」

新潟市が
発行している
ハザードマッ
プによると、
堤防決壊が
なくても**48時
間**総雨量が
633mmを超
えた場合、こ
の地区は水
位**0.5m~3.
0m**を想定し
ています。

日頃から家
族や友人、
地域住民と、
いざという場
合に備えて
連絡体制と
防災備品を
備えましょ
う！